

## ○令和4年12月21日 経済委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

経済委員会では、今年度のテーマを「県内企業の競争力強化について」、「地域資源を活用した滞在・体験型観光の推進について」及び「オリーブ水畜産物の生産振興について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、川鶴酒造株式会社（観音寺市本大町）を訪問し、酒蔵内を視察しながら、社外の杜氏から社員による醸造への移行や、若い人たちなど新しい客層に好まれる日本酒造りの取組み、人材育成や今後の課題などの説明を受けた後、質疑を行いました。



次に、合同会社三豊鶴（三豊市詫間町）を訪問し、市内の若手経営者5名で事業をはじめた経緯や、瀬戸内国際芸術祭の会期中に実施した「酒蔵アートレストラン」の事業内容、運営実績、酒造体験型ゲストハウス三豊鶴T O J Iなどの説明を受け、質疑を行った後、施設の視察を行いました。



最後に、香川県防疫資材備蓄倉庫（三豊市山本町）を訪問し、鳥インフルエンザの発生状況や防疫措置の状況、新たに策定した防疫マニュアルなどの説明を受けた後、防疫措置に必要な資材の備蓄状況の視察を行いながら、質疑を行いました。

